

■委員会活動

「プラントメンテナンス産業活力向上」に向け、総務委員会を中心に8つの委員会を編成し、課題の解決、改善活動を進めています。



プラントメンテナンス産業活力向上

産業活力再生特別措置法(平成 11 年法律第 131 号)第四条第一項の規定に基づき、平成 20 年 10 月 23 日に公表された、経済産業省告示第 231 号「プラントメンテナンス業の活力の再生に向けた基本指針(事業分野別指針)」で示された指針のうち、業界が取り組むべき指針について推進し、産業活動向上(生産性向上)に寄与します。概要は以下の通りです。

①プラントメンテナンス業の季節変動の標準化にむけた企業間の共同化・ネットワーク化

石油精製や化学プラントの定期修理工事の時期が集中することに伴い、プラントメンテナンスの需要も大きく変動します。この需要の変動を解消することにより、発注元及び外注先の安定的な雇用の確保と技術・技能の蓄積が可能となることから、ユーザー間でメンテナンス需要のピーク時期の調整や平準化などや事業者間のネットワーク化等の方策について研究します。

②プラントメンテナンス業務の質の向上と人材育成・確保

プラントメンテナンス業務の品質向上を図るため、業務標準を作成しプラントメンテナンス業務の基準の統一化を図るとともに、技術・技能の評価が契約に反映されるよう客観的指標について研究します。

③高付加価値サービスの提供

プラントメンテナンス業が付加価値を高め、更に成長していくためには、プラントメンテナンス業者が蓄積した技術・技能をもとにした、ユーザーへの高付加価値化提案が求められています。業界全体としての提案機運の高まりが重要であり、提案の動機付けとなる勉強会などに取り組めます。

④グローバル展開

ユーザーの海外展開は今後一層進むとともに、現地でのプラントメンテナンスに対する需要も増大していくと考えます。対応としては、海外のプラントメンテナンス実態調査や海外展開したユーザーのニーズ調査、海外事業者との協業・提携、現地法人の設立などです。

■主な行事

1 月 新年賀詞交歓会開催



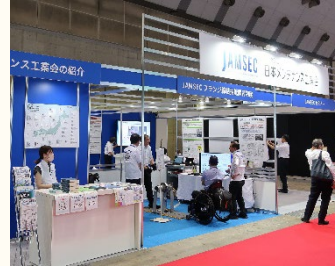
6 月 総会、講演会、表彰式、懇親会



11 月 工場見学会



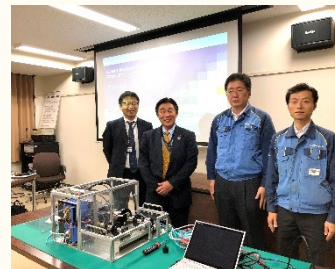
プラントメンテナンスショー



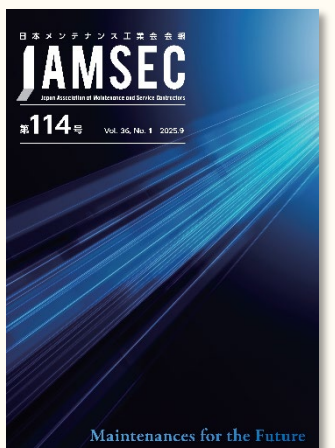
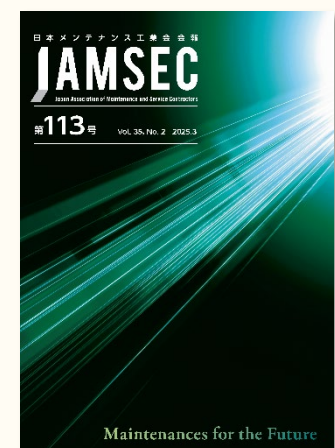
大学との連携講座



高専での技術者育成講座



会報発行 (年 2 回 2 月・8 月)



世界をメンテナンスが 支えています



日本メンテナンス工業会は、
メンテナンス・サービス企業の同業者団体として
1990 年に設立され、総合、機械、電気、計装など
各分野の信頼できる企業が会員です。

1942 日本能率協会 (JMA)
1961 設備管理部会

1981 日本プラントメンテナンス協会 (JIPM)
1985 メンテナンスサービス会社懇話会
1989 メンテナンスサービス部会(40 数社)

1990 日本メンテナンス工業会 (JAMSEC)
2021 一般社団法人化

JAMSEC 一般社団法人
日本メンテナンス工業会

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-9-1 プロドリー西新橋ビル
TEL : 03-5510-6933 FAX : 03-5510-6934
URL : <https://www.jamsec.jp> E-mail : jimukyoku@jamsec.jp

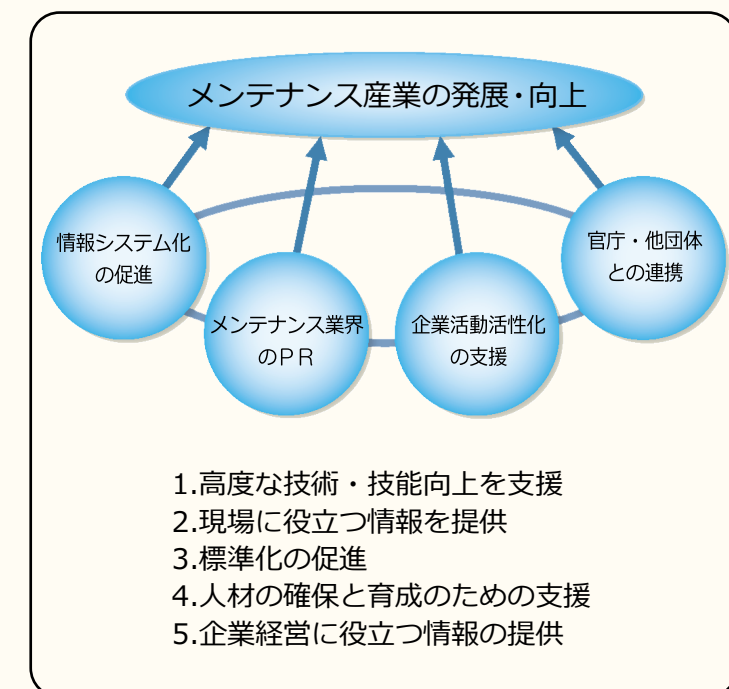
メンテナンス産業への期待に応えて

アウトソーシング化や
設備のビンテージが高まる中で
メンテナンスの重要性が問われている

日本メンテナンス工業会 (JAMSEC/Japan Association of Maintenance and Service Contractors) はメンテナンス技術向上、人材の確保育成、経営基盤強化を通じて産業界から信頼される技術・技能を備え、我が国の発展及び国民生活向上に寄与することを目的とする団体です。我が国主要産業では業務のアウトソーシング化による効率化とコストダウンが図られ、製造設備は IT 技術の進歩などが継続的に進む一方で、設備ビンテージはより高くなっています。また、少子高齢化を背景とするなかで、労働人口の減少傾向がクローズアップされています。メンテナンスは「人」に頼るところも多く、技術・技能伝承に時間・コストも必要です。私たちはこれらの諸問題にメンテナンス・サービス業界のみならず、関係官庁・産業界などとの連携を行い、その課題に対応するとともにメンテナンス技術・技能の向上による設備の安全安定操業への寄与、優秀な人材の確保育成、経営基盤確立などにより広く社会に認知される業界としての地位の向上を図るとともに、我が国産業界の国際競争力の維持・発展に貢献してまいります。また、設立から 30 周年を迎え、法人化に向けた整備を行ってまいりましたが、2021 年 6 月に「一般社団法人日本メンテナンス工業会」として設立登記が完了しました。

■日本メンテナン工業会の機能

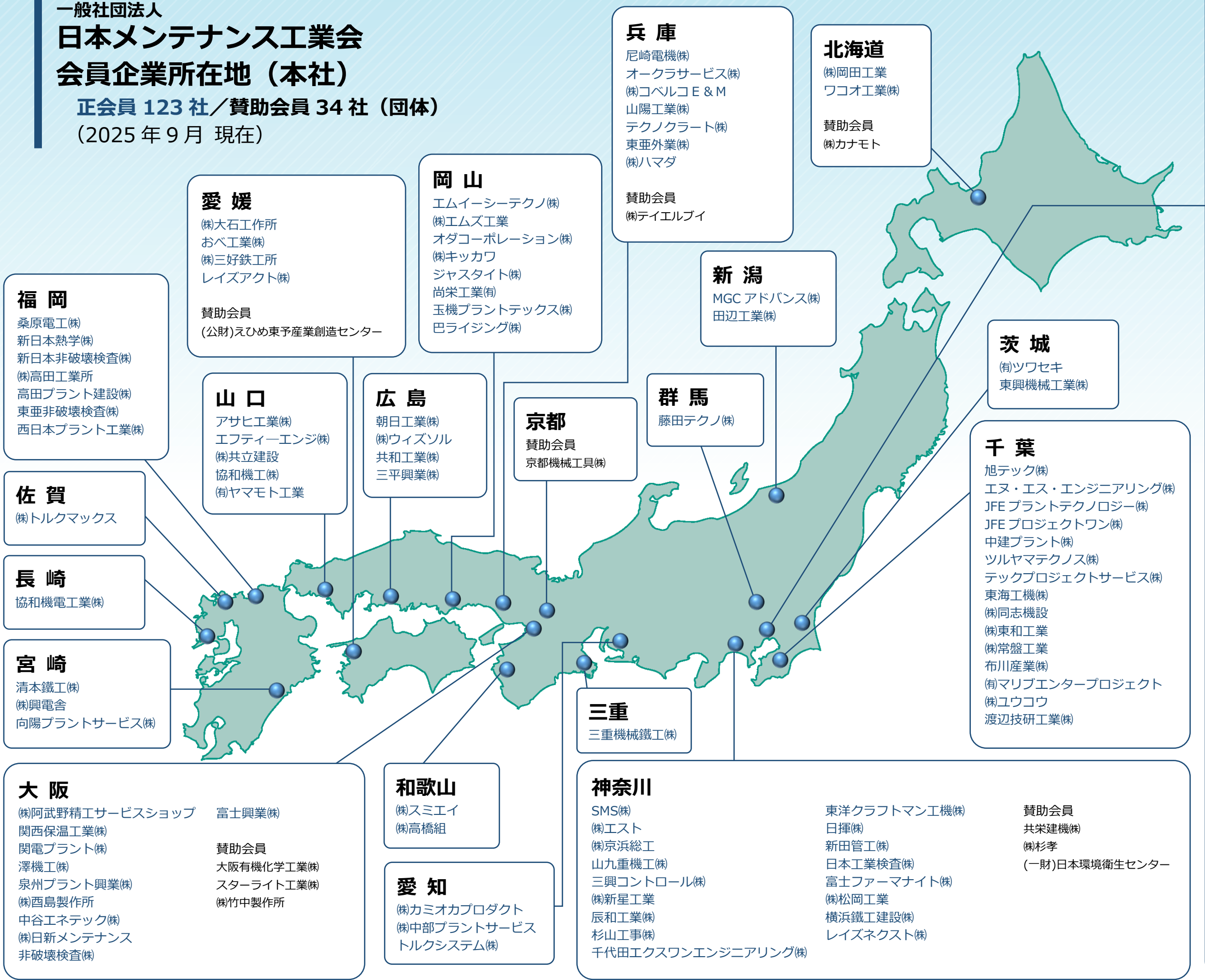
製造設備、各種産業設備のメンテナンス・サービスを提供する企業及びメンテナンスに関連する企業・団体を会員とする団体です。



一般社団法人

日本メンテナンス工業会 会員企業所在地（本社）

正会員 123 社／賛助会員 34 社（団体）
（2025 年 9 月 現在）



東 京

旭化成エンジニアリング(株)
旭国際テクネイオン(株)
アスク・サンシンエンジニアリング(株)
アズビル(株)
NX エンジニアリング(株)
(株)オーバル
河野プラント工事(株)
コスモエンジニアリング(株)
山九(株)
山九プラントテクノ(株)
JFE プラントエンジ(株)
昭和アステック(株)
信越エンジニアリング(株)
(株)スガテック
綜研テクニックス(株)
太平電業(株)
(株)デュコル
東亜工業(株)
(株)東京エネシス
トーヨーカネツ(株)
日鉄テックスエンジ(株)
富士電機(株)
(株)マイスターエンジニアリング
丸三機械建設(株)
三菱ケミカルエンジニアリング(株)
三菱電機プラントエンジニアリング(株)
(株)明電エンジニアリング
横河ソリューションサービス(株)

賛助会員

愛知産業(株)
(株)アクティオ
岩井機械工業(株)
内宮運輸機工(株)
ENEOS(株)
(株)エム・ソフト
(株)昭和コーポレーション
スリーエム ジャパン(株)
(株)センシンロボティクス
第一高周波工業(株)
中央職業能力開発協会
ニチアス(株)
日建リース工業(株)
日綜産業(株)
日本エヌ・シー・エイチ(株)
(一社)日本能率協会
日本非破壊検査(株)
(公社)日本プラントメンテナンス協会
(株)バルカー
ヘンケルジャパン(株)
三菱ケミカル(株)
明星工業(株)
メタウォーター(株)